

NJ素流協 News

令和5年10月10日 第225号

令和5年10月10日発行・発行所 ノースジャパン素材流通協同組合 〒020-0024 盛岡市菜園1丁目3-6（農林会館5階）
TEL 019(652)7227 / FAX 019(654)8533 / <https://www.soryukyo.or.jp>

会場	参加組合数	参加人数
8/21 盛岡市	7	9
8/23 八戸市	17	26
8/25 鹿角市	6	11
8/29 盛岡市	7	9
9/ 8 新庄市	5	6
9/11 盛岡市	9	13
9/13 青森市	1 (団体)	6
計	52	80

催した。
今回は、パソコンで使えるGISソフト『QGIS』の活用をテーマとし、多くの組合員から参加希望があったことから、8月下旬から9月中旬にかけて7会場で開催した（各会場の参加者数は表のと

特集1

度第1回林業経営講座「QGISお試し勉強会」を開催した。

ノースジャパン素流協 令和5年度林業経営講座(第1回) 「QGISお試し勉強会」を開催

GIS (Geographic Information System) 地理情報システムは地図を表示するだけでなく、その地図に様々な情報を関連付けて、見える化し、考えるための道具として利用することができる。
QGISは、誰でも自由に入手して利用することができる無料のGISソフトであり、様々なファイル形式に対応し、豊富なプラグインによる機能拡張が可能等の特徴があり、森林・林業分野における活用法についても情報誌等で紹介されている。
勉強会では、NJ素流協経営企画課 吉田課長が講師を務め、内容を3部に分けて操作手順を説明した。
参加者のほとんどがはじめての操作であったため、手順を一つずつ

つ丁寧に説明しながら演習が進められた。内容を抜粋して紹介する。

* * * * *

①QGISの概要とレイヤ表示

・GIS単体を活用するだけでなく、ハンディGPS等、他のシステムとデータを連携して使うことが可能。
・地図の位置を示す基準である座標参照系が地図ごとに存在し、地理座標系と投影座標系がある。



講座の様子(鹿角会場)

・地図や図形の層(レイヤ)を重ねて1つの地図として表示することができる。
・QGISではインターネット経

由で様々な地図を背景に表示することができるとのこと。

・ 国有林野レイヤは「国土数値情報ダウンロードサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/>)」で一般公開されている。林小班の外観を確認できるだけでなく、樹種等の情報も含まれており、地図上に林小班の文字をラベル表示することも可能。

・ 各県に申請することで民有林の森林計画図等の電子データの交付を受けることも可能(条件あり)。

② 登記所備付地図データの表示

・ 法務局の登記所備付地図の電子データが今年の1月から一般公開されている。「G空間情報センター (<https://front.geospatial.jp/>)」から、市町村ごとのデータをダウンロードすることが可能。

・ 地番までの情報が含まれており、地図上に住所をラベル表示することが可能。

③ 図面のレイアウト設定と印刷

・ QGISで使いやすく編集した地図を、レイアウト機能を使って印刷またはPDFファイル等に出

力することが可能。

・ 地図への、方位記号やスケールバーの配置、文字の書き込みなどが可能。

ご要望が多数ございましたので次回勉強会の開催も検討しております。

また、訪問指導も行っておりますのでご要望ございましたら経営企画課までご連絡ください。

特集2

仙台湾沿岸海岸防災林の再生と「ノースジャパン100年復興の森」の活動

9月1日防災の日、仙台森林管理署指導の下、「令和5年度 海岸防災林再生活動」を実施した。参加者は、NJ素流協組合員、同青年部会員、役職員等の参加で、総勢30名が集まった。この9月も全国的に猛暑日が続く、各地で熱中症警戒アラートが発表されるほど茹だるような暑

さであり、当日も、炎天下での作業であった。

活動に当たり、鈴木理事長より、「今年の再生活動は、下刈り作業と、海岸防災林を構成するための、枝落



枝下し(写真右、左)と下刈り(写真右下)の様子。炎天下の中、手作業です



し作業を行います。熱中症にならないよう十分に水分補給しましょう」と挨拶があり、作業が開始された。

一同は、持ち寄った刈払い機、剪定ノコギリ、小型チェーンソーを用い、それぞれ作業に取りかかった。

NJ素流協管理地の抵抗性クロマツは植栽後6年経過し、樹高4〜5m、樹冠幅も5mと成長が著しく、植栽木間の枝も重なり混み合っているため、病虫害の発生原因となる事から、昨年、樹高の1/3(約1m)の高さまで、幹から10〜15cmを目安に残して裾枝払い作業を実施していた。そのためか、植栽木の成長も良



みなさんで記念撮影！お疲れ様でした!!

く、枝落し効果が見られた。今年、昨年残した残枝の切り落としを行うもので、幹に沿って平滑打ち作業を実施した。また、ブランチカラーに傷を付けると腐れや枯れの原因となるため注意を払いながらの作業であった。

作業終了後は、作業の甲斐あって、植栽木もスッキリし、林内も明るくなり、暑い中にも、作業の達成感が感じられ、爽やかな笑顔で記念撮影となった。

何より、参加者全員ケガもなく、安全に作業を終えることができた。

海岸防災林は、飛砂防備、強風、

トピックス

カラマツ球果 今年も採取しました！

潮風の軽減などの機能に加えて津波被害軽減効果も求められており、仙台森林管理署からのご指導を頂きながら、十分な機能が発現出来るよう今後も再生活動を進めて参ります。

令和5年度カラマツ種子の確保協力として、種苗業者指導の下、9月4日～5日の2日間、岩手県遠野市附馬牛（ツキモウシ）町、上郷（カミゴウ）町において、ノースジャパン素流協の役員等総勢10名で、カラマツの球果採取をボランティアで実施しました。

今年の採取については、全国的に猛暑だったこともあり、カラマツ球果の鱗片（りんぺん）の開きが早く種子飛散が多く見られました。近年の温暖化もあり、種子飛散の時期が早まっており、採取時期に柔軟性が欲しいところです。



暑さのためか、すでに種子飛散してしまったものも…理事長も「う～ん」



また、昨年が豊作期であったことから、ここから数年は不作期になるのでは…。今回、球果採取にご協力いただいた有限会社丸大県北農林様、伐倒・

有限会社下久保林業様 農林水産大臣賞を受賞

枝下し作業等の事前準備にご協力いただいた佐々木林業土木株式会社様、MG企画様、そして、カラマツ球果情報をくださった組合員の皆様に改めて感謝申し上げます。ありがとうございました！

令和5年度第62回全国林業経営推奨行事受賞者において、当組合員の有限会社下久保林業様が農林水産大臣賞を受賞しました。

この賞は、森林の適正な管理並びに林業の技術及び経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰するものです。

なお、賞状伝達贈呈式は11月2日に開催予定です。

フォレストワーカー3年 次研修で理事長が講義

8月28日、(公財)岩手県林業労働対策基金、岩手県林業労働力確保支

授センター主催の、「令和5年度『緑の雇用』フォレストワーカー3年次研修」が岩手県林業技術センターで開催され、当組合鈴木理事長が「事業所経営の展望」と題して、N J素流協の仕組みや、組合員の事業展開例を紹介しながら講義を行いました。



講義の様子

**東北農林専門職大学
設置認可下りる！**

東北地方初となる農林業系の専門職大学、「東北農林専門職大学」が2024年4月、山形県新庄市に開学します。

N J素流協ニュースでも223号

(8月10日発行)で紹介しましたが、9月4日付けで、永岡桂子文部科学相から設置認可が下り、6日には、初めての入学生となる令和6年度の入学者選抜要項及び学生募集要項(※総合型選抜・特別選抜)がホームページに掲載されました。

*** **

※選抜の種類は、

- ① 一般選抜
- ② 総合型選抜：東北優先枠がある
- ③ 指定校推薦型選抜：山形県内の高校推薦
- ④ 特別選抜：社会人や私費外国人留学生など

以上、4つの形式があります。

**D材生産で補助がもらえる!
再造林を進める
補助金Q&A**

注目!

再造林の一貫施業がリニューアルされました! 伐倒・地拵のついでに集材し

ながらD材を作って、補助金がもらえる画期的な仕組みです。これは、

我々、素材生産者の多くが望んでいたものです。

伐採後の再造林は、資源の循環、森林の持つ公益的機能維持はもちろん、今後素材生産者が安心して事業を継続するためにも重要です。

再造林を進める上で問題となるのは、地拵コストです。この問題を解消する岩手県の支援事業をQ&A形式で、ご紹介します。

*** **

Q D材生産の補助の対象となる作業は?

A 末木枝条の整理です。伐木・造材費、トラック積み込み経費、破砕経費は補助の対象になりません。具体的には、「集材・地拵」は、原則全木・全幹集材とし、末木枝条を搬出路・作業道まで集め、植え付けのじやまにならないように片づける経費が補助対象です。道脇に集めた末木枝条などは、D材利用ができます。

Q 自分では植栽できませんが、一貫施業にできるのでしょうか?

A 森林組合等の植栽を行う者と連携して実行できます。

Q 連携した場合、一貫施業のうち地拵・集材と植栽の補助額は透明性がありませんか?

A 地拵え込みで集材を行った場合は、補助における一貫作業システム(集材・地拵・植栽)単価から低コスト造林(植栽)単価を差し引いて計算できるので明確です。お奨めします。

Q 一貫作業の採択には条件がありますか?

A 低密度植栽、ドローン運搬、その他効率化・低コスト化技術による人工造林となっています。

Q 誰でも補助申請できますか?

A 申請者及び施業実施者は、責任をもって森林の管理をする必要があるため、意欲と能力のある林業経営体等の「選定経営体」となっています(等は育成経営体のことです)。林業経営体は会社組織でなくても選定されます。

選定経営体のうち「育成経営体」

は、事業実績1年以上、生産量の増加又は生産性の向上、雇用管理、コンプライアンスなど基本的な事項の

実施に意欲があれば選定されます。
 「選定経営体等」は、岩手県の一貫
 施業に限らず、補助事業の要件とな
 ることがあります。

一貫施業補助、林業経営体選定に
 関心がある方は、岩手県と同様に、
 東北各県の状況を調べてお手伝いし
 ますので、ご遠慮なく経営企画管理
 部までお願いします。

お知らせ

**退職金の備えは万全で
 ですか？**

～10月は林業退職金共済
 (林退共)制度加入促進強
 化月間です～

10月1日～31日は「林業退職金共
 済制度加入促進強化月間」です。

●林退共制度とは？

林業を営む事業主が、雇用してい
 る従事者の「共済手帳」に、働いた
 日数に応じて掛金となる「共済証紙」
 を貼ります。その従事者が林業界で
 働くのをやめた時に林退共から退職

金を支払う制度です。

●加入・対象となるのは…？

▽加入できる事業主…林業を営む方
 なら、専業・兼業問わず可です。

▽対象となる従事者…林業の現場で
 働く方なら作業種別に関わりなく、
 月給・日給・出来高制に関係なく加
 入可。一人親方でも、任意組合を作
 れば加入可です。

* * * * *

※他の退職金共済制度(中退共、建
 退共、清退共)に加入している方は、
**同時に林退共に加入できませんが、
 移動した際は掛け金の通算がありま
 す。**

※国の補助により、新たに加入した
 従事者については、掛け金の一部が
 免除されます。

加入方法等より詳しい内容はここ
 らから。

注意!

**狩猟が始まります!
 事故防止に警戒を**

鳥獣保護管理法に定められた猟期
 に先駆けて、ニホンジカ等特定鳥獣
 の狩猟が、11月1日より始まります
 (福島県及び宮城県の一部を除く)。
 事故防止に注意してください。
 安全確保については、次の4点の
 徹底をお願いいたします。

①作業者に狩猟期間を周知する。

②作業現場や林道の入り口等の目立
 つ場所に作業中の「のぼり」や作業
 箇所・作業期間等を記載した看板等
 を設置する(狩猟以外の入山者の事
 故防止にも役立ちます)。

③林内の作業には、オレンジ色や黄
 色等の目立つ色の服装やヘルメット
 を着用する。

※狩猟者は、自分たちがオレンジ色
 や黄色のベストを着用しているの
 で、この色には特に敏感です。

また、**白色は、ニホンジカのお尻
 の色と間違われる恐れがあります。**

白色の服装やヘルメットは危険です。
 ※蛍光性のある高視認性タイプのオ

レンジ色・黄色の反射板付きのベス
 トが作業もしやすく、効果的です。
 ④レクリエーションやきのこ採取な
 どの不特定の入林者にも目立つ服装
 を呼びかけ事故防止に努めましょう!

**広葉樹の伐採適期がス
 タート!!**

～いろいろな用途あります～

広葉樹伐採適期がスタートします!

東北は広葉樹の資源量の多さに対し
 て、素材生産量が少ない状況です。
 広葉樹の用途は樹種によつて様々で
 すのでぜひご相談ください。

【樹種ごとの人気】

人気のもの…オニグルミ、ミズナラ、
 トチノキ、ヤマザクラ、ホオノキ、
 ウダイカンバ(マカバ)、クリ

希少価値で高いもの…オノオレカン
 バ、ミズギ

最近意外に人気が出てきたもの…ハ
 ノノキ、サワグルミ、ニセアカシア、
 シラカンバ

【広葉樹活用例】

①家具用・フローリング用、内装用、
 スポーツ用品用、マクラギ用、WP

林退共HP
<https://www.rintaikyotaisyokukin.go.jp/>



C用、金型用(ナラ、サクラ、オニグルミ、クリ、ブナ、トチ、カンバ類、サワグルミ等)

② 楽器用(ミズナラ、ブナ、イタヤカエデ等)

③ 伝統工芸品用(木地・ソロバン、くし等)(様々な樹種)

④ 醸造酒用の樽(ナラ)

⑤ 木製ダボ、シイタケ種駒用(カンバ類、ブナ等)

⑥ 業務用、BBQ用、家庭用薪(ナラ、サクラ、L込)

⑦ きこの用のおが粉(コナラ、クヌギ、ブナ等)

⑧ 燻製用チップ(サクラ、コナラ、クヌギ、ブナ、カシ類、カエデ類等)

⑨ 紙パルプ

・バイオマス発電用の燃料(小径、曲がり、節の多い原木)

寒い時期になると、ピザ、パン屋等業務用の他にストーブ用の薪としての需要も発生します。

また、長さの違いによって単価が大きく変わる樹種もあります。

採材方法や出荷先など疑問に思う

ことがありましたら、お気軽に営業企画部までご連絡ください。フォトソリューションの活用も大歓迎です。

**NJ素流協
令和5年度先進地視察
研修を開催します!!**

先進地視察研修は、組合員及びその役職員の知識と技術の更なる向上、相互の交流を推進する目的で行っている研修です。

新型コロナウイルスの流行でこれまで中止してきましたが、今年度は久しぶりに視察研修を行います!!

【日程】

令和5年11月12日(日)

～11月14日(火)

【視察先】

1. 2023森林・林業・環境機械展示実演会(ひたちなか市)
2. 森林総合研究所 林木育種センター(日立市)

3. FIT JAPAN合同会社(大子町)

4. 大子町役場新庁舎(大子町)

【参加対象者】

組合員及び後継者、従業員等

【費用】

参加費 1人あたり3万円

※その他、集合・解散場所までの往復交通費を参加者負担とします。

参加を希望される方は、10月13日(金)までにお申込みください。ようお願いたします。

皆様の参加をお待ちしております。

**NJ素流協
令和5年度第1回林業
講演会を開催します!!**

令和5年度の第1回林業講演会を次のとおり開催します。

今回の講演会は、デジタル化に対応し、実務に役立てるため、林業界の取り組み状況と今後の戦略、今すぐ現場で役立つ効果的なDX等についてご講演と意見交換を賜ります。

つきましては、皆様のご参加をお願い申し上げます。

【テーマ】

「実務に役立つ業界のデジタル化戦略」

【日時】10月30日(月)

13時00分～17時00分

【会場】

ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング(4階)

【内容】

●講演①「森林整備業務に役立つデジタル化と林業イノベーションの推進」

林野庁森林整備部整備課

課長 木下 仁 氏

●講演②「森林の航空レーザ計測技術は何に使えるか」

アジア航測株式会社 執行役員

国土保全コンサルタント事業

部総括技師長 寺川 仁 氏

●講演③「デジタル技術を利用した災害に強い森林づくり」

国土防災技術株式会社 取締役

事業本部長 田中 賢治 氏

●意見交換

内容の詳細、参加申し込みにつきましましてはNJ素流協ホームページをご覧ください。

参加ご希望の方は10月23日(月)までにご連絡をお願いします。

ちよつと気になる木の話

87

林業・木材業界の建物の
中を見て

特にイベントで気になること！

「木を植えて、育てて、伐つて、使つて、また植えて」が林業・木材産業の基本思想となっている。しかし、「使つて」の分野は、新設住宅の木造率の推移表が添付され、今までの新設住宅に頼る林業・木材業界の

既成概念の象徴である。今は、リフォームや非住宅分野にも取組みは進んできているが、あくまで建物の構造材が関心の中央部分を占める。そこで、業界・行政の事務所をみてみると、木造でないケースが多い。人に勧めるのに自ら木造で建てないのか？かつては近代化の象徴がRC造、S造だし、耐用年数も来てないので!!次建てる時は木造にしますよ!!仕方ない理由でもあるが…。

そこで、建物の中を見ると、スチールの机、イス、アルミ枠に知事・林野庁長官の表彰状が飾られている。

もちろん、トイレ、キッチンなど水回りには、メーカー品で木の姿は見られない。こちらは、その都度調達しているはずだが、同様に見当たらない。今だに、この分野は、林業・木材産業とは関係ないか？行政機関でも全く同じである。サインボードやネームプレート、傘立て、靴箱にも木製は見当たらない。

そこで、植えて、育てるイベントを見てみよう。どこでも会場には、事務所にあるものを持つてくるので、受付のテーブル、イス、ペンケース、ネームプレートは木製ではない。精々プリント合板利用である。もちろん、まだ使える備品を廃棄して、木製新品をと無駄使いを考えているわけではない。でも、少しは、木製のツキ板や単板を貼つて、見せかけだけでも変更してみたいなあ〜と考えて、N J 素流協ではウッドチェンジ運動を掲げている。

その中で、最も目立っているのが、変更がないのが、プラスチックポ―

ルを使った旗である。イベント会場に沢山立っている他、誘導の道路沿いにも一杯である。林業・木材産業は、脱プラスチックで木材利用を推奨しているはずである。木製ポール化を進めて、かつて使ってみたが、案外と簡単に作成できる。丸棒でも角材でもできる。ポールの収納方法と旗の取り付け場所の工夫だけである。関係イベントで使えば、「さすが」と言われるが、普通になって「さすが」と言われないことが目標・夢である。



森林総研で使用されている木のポール

でも、何故普通に出来ないんだろうか？業界の経営者も行政の技術系

職員も備品調達は「自分の仕事ではない」との考えが根底にある。イベントの内容・進行シナリオ、人の役割等が自分の仕事と認識している。物品調達は経理の仕事だ。自分の技術系知識・仕事とは関係ない!!悪い言葉で言えば、「経理屋、自分で調達しろ!!」となる。

調達する人からすれば、地元から調達すると失敗する品質になるかとの心配もあり、カタログから大手のメーカー品を調達に走る。地元調達だと3者見積りも必要だしとなる。頭の固い職員はなかなか変わらない。でも、オフィス家具メーカーとか木製サインボード等簡単に取り組めばいいのと思う。まあ、日本全体で木製備品カタログを作ったらと中央木材団体におすすめたこともあるが…。

いずれにしても、ウッドチェンジ時代、脱プラ時代に向けて、心の奥底から建物の内外含めて見渡すのがこの時代である。少しぐらいなら、視力低下しても木とプラスチックの見分けはつく〜と確信している。

令和5年9月分の販売実績

樹種	合板・LVL用			製材・集成材・その他用			計		
	当月出荷量 (m ³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m ³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)	当月出荷量 (m ³)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
スギ	10,004	109.0	88.1	7,854	103.6	115.0	17,858	106.6	98.2
カラマツ	5,277	118.8	110.1	474	447.1	68.4	5,751	126.4	104.8
アカマツ	1,340	80.5	74.0	544	1,359.7	1,138.4	1,884	110.5	101.4
その他	0	*	*	1,204	1,037.5	160.0	1,204	1,037.5	160.0
合計	16,621	108.7	92.5	10,077	128.5	121.1	26,698	115.4	101.6

樹種	燃料用		
	当月出荷量 (t)	前月比 (%)	前年同月比 (%)
スギ	5,769	192.7	103.1
カラマツ	6,059	249.2	214.8
アカマツ	776	76.2	94.2
その他	800	259.3	849.4
合計	13,405	198.5	143.6

樹種	今年度累計			
	合板・LVL用 (m ³)	製材・集成材・その他用 (m ³)	計 (m ³)	燃料用 (t)
スギ	62,221	46,311	108,532	27,768
カラマツ	26,817	1,049	27,866	21,428
アカマツ	9,889	599	10,488	11,694
その他	0	1,924	1,924	1,567
合計	98,926	49,883	148,810	62,457
目標達成率 (%)	41.2	28.5	35.9	46.3
計画量	240,000	175,000	415,000	135,000

注) *印は前月又は前年同月実績がなかったことを示す。

【令和5年9月の需給動向】

- 9月までは虫害の心配もあり、各工場、原木の仕入れについては慎重な姿勢（制限あり）
10月以降の原木仕入れは増量する傾向にある。
- アカマツも青変菌の心配が無くなり、今後は引き合いが強まる傾向にある。

耳からウロコ

桶樽振興逸話

ー熱心に取組むに当たってー

個人的には、桶樽を木に戻す活動に取組んでいる。熱心に取組むに当たっての逸話を紹介したい。

酒樽を杉の樽に戻すに当たって、兵庫の菊正宗酒造の社長が吉野の木材業者と話している内容を陳情してきた。樽づくり職人の会社が会社を止めると木樽に拘る酒造メーカーとしては困る。何とか存続をということだったが、それなら、秋田から供給しますよと話をしたら、灘の酒は吉野杉の香りに拘っているとして、結果、樽づくり職人そのまま会社で引き受けることとなった。ちなみに、菊正宗酒造は、灘の代表で、有名進学校の創設出資者である。なるほど、「それで灘高校か！」更に、吉野の木材業者は吉野中央市場社長で、大和ハウス創設者石橋氏の実家である。正に木材のメッカ吉野郡川上村で林業学校卒業である。あっ！ちよこっと話がズレました。

次は、宮崎の「百年の孤独」である。岩手の某製材工場の息子さんと「百年の孤独」焼酎メーカーの娘さんの結婚

祝にオークの樽を提供することとなる。この結果、オークの樽でウイスキーを仕込んだ結果、ウイスキー色の百年の孤独が誕生することとなった。なるほど！あの独特の色合いは、そういうことか!!オークの樽材を供給した広葉樹製材メーカーから聞いた話である。

更に、ビルの屋上の木桶が、ニューヨークでは普通だということを知り、日本でもと思っていたところに、公募に日本木樽木管という会社が現れ、羽田空港第2ターミナルビルに設置することになった思い出もあった。こうした逸話もあり、桶樽サミットを長野・秋田で開催していただくため、働きかけをする契機となったのである。

そこで、長野の木曾で、第1回の桶樽サミット開催となった。盛り上がったが、この後意外なことが生じた。あちこちの銭湯に沢山あった「ケロリン」の宣伝のために提供したケロリンの桶を木の桶にして、売り出したのである。富山の中外製薬もさすがである。聞いたところによると富山駅では従前のプラスチック製、長野駅では木製だったようである。

第2回目は、秋田開催だったが、新政造の取組みは今でも印象に残っている。次にどこかでやらないかなー!?